健康は自分で作るもの

健康管理ということばが日常使われていますが、健康管理とは、あくまでも自分自身の問題なのです。次にあげる五つは、日常生活のなかで、あなたの健康度を容易にチェックするメヤスとなります。もし、あなたが自身を持ってこの状態を続けられれば自分自身のよき健康管理者になれるでしょう。

一、毎日を明るく楽しく暮らすことができる。

二、つねに「からだ」の調子がいい。

三、つねに「こころ」が豊かである。

四、自分の仕事を意欲をもって続けられる。

五、異常のないことが医学的にうらづけられる。

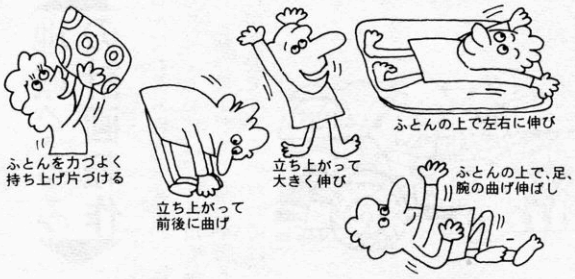
昭和五十四年に検診を受けられた人は表のとおりです。

	54年	53年に比べ
循環器	184人	5人増
胃癌	190人	3人減
子宮癌	43人	6人増

—役場実施のみ—

めざめながら

毎日の生活を運動化して楽しくおくろう!!



お休み前に

家族みんなで 交通災害共済に加入しましょう

交通事故をなくそうという祈りもむなしく、悲惨な事故はあとを絶ちません。

今年もきたる三月三十一日で五十四年度の共済期間が終了しますので、町では五十五年度の会員を募集します。

交通災害共済事業は、少額の掛金と充実した内容が特徴で、お互いの助け合いの制度です。万一に備えて、家族そろって加入しましょう。

加入資格 日置町に住民登録または外国人登録をされている人。ただし、他の市町村に転出されても、山口県内の全町村間及び新南陽市を移動された場合は、資格はなくなりません。資格のなくならない市町村間を移動される場合、転入された市町村で申し出て下さい。

共済掛金 一人五百円。ただし中学生(昭和四十年四月二日以降に生れた者、同日以前に生れた者で中学生である者を含む)以下の子ども、七十歳以上の老人(明治四十三年四月一日以前に生れた者)は三百円。

共済期間 昭和五十五年四月一日から昭和五十六年三月三十一日まで。途中からの加入も受付けますが、掛金は同じです。

加入手続き 受付けは役場総務課管理係で行なっています。部落長さんにとりまとめのお願いをしていますので、「交通災害共済加入申込書」に記入のうえ、掛金を添えて申し込んで下さい。直接役場へこられても結構です。

共済見舞金額

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡	800,000円
2等級	360日以上の治療を要する傷害	230,000
3等級	300日以上360日未満の治療を要する傷害	180,000
4等級	240日以上300日未満の治療を要する傷害	140,000
5等級	180日以上240日未満の治療を要する傷害	105,000
6等級	130日以上180日未満の治療を要する傷害	80,000
7等級	90日以上130日未満の治療を要する傷害	65,000
8等級	75日以上90日未満の治療を要する傷害	50,000
9等級	60日以上75日未満の治療を要する傷害	40,000
10等級	45日以上60日未満の治療を要する傷害	32,000
11等級	30日以上45日未満の治療を要する傷害	23,000
12等級	21日以上30日未満の治療を要する傷害	15,000
13等級	14日以上21日未満の治療を要する傷害	13,000
14等級	7日以上14日未満の治療を要する傷害	10,000
15等級	7日未満の治療を要する傷害	7,000

(備考) 頸部損傷(いわゆる「むち打ち損傷」)については、原則として8等級を限度として支給し、90日を越えてなお引続いて治療が行われている場合は、6等級を限度として支給する。

過去3年間の交通災害共済加入状況及び見舞金支給状況。

	加入者数	加入率	見舞金	
			件数	支給金額
52年度	3,240人	59.1%	12	510,000
53年度	3,271人	60.2%	16	1,727,000
54年度	3,460人	64.0%	15	1,234,000